



平成30年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社 地域新聞社
代表者名 代表取締役社長 近間 之文
(コード 2164)
問合せ先 取締役管理本部本部長
三島 崇史
(TEL. 047-420-0303)

営業外費用（貸倒引当金繰入額他）の計上及び業績予想値と決算値との差異
及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成30年8月期の事業年度（個別）におきまして、下記のとおり営業外費用（貸倒引当金繰入額、関係会社事業損失引当金繰入額）を計上しましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年10月10日に公表しました平成30年8月期（平成29年9月1日～平成30年8月31日）の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

加えて、本日開催の取締役会において、平成30年8月31日を基準日とする剰余金の配当を行なうことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（貸倒引当金繰入額、関係会社事業損失引当金繰入額）の計上について

当社の連結子会社である株式会社ショッパー社の財政状態及び業績状況等を勘案し、健全性の観点から営業外費用として、同社に対する貸付金10百万円について貸倒引当金繰入額を計上するとともに、関係会社事業損失引当金繰入額31百万円を計上致します。

2. 業績に与える影響

上記貸倒引当金繰入額及び関係会社事業損失引当金繰入額の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「平成30年8月期決算短信」の個別業績に反映しています。なお、連結決算上は消去されるため、連結業績へ与える影響はございません。

3. 業績予想値と決算値との差異

平成30年8月期通期連結業績予想値と決算値との差異（平成29年9月1日～平成30年8月31日）
（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,279	4	5	△17	円 銭 △9.66
実績値(B)	4,069	21	21	1	0.99
増減額(B-A)	△210	17	16	18	
増減率(%)	△4.9	329.0	330.3	-	
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	3,955	△152	△152	△161	△87.58

差異が生じた理由

平成30年8月期累計期間の業績につきましては、新聞等発行事業の伸び悩みにより売上高は計画値を下回りましたが、原価管理による粗利益率の改善及び販売管理費の適正化が進んだことから、営業利益、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予測値を上回る結果となりました。

平成30年8月期通期個別業績予想値と決算値との差異（平成29年9月1日～平成30年8月31日）
（単位：百万円，％）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,496	73	51	円 銭 27.98
実績値(B)	3,361	26	8	4.82
増減額(B-A)	△134	△47	△42	
増減率(%)	△3.9	△63.9	△82.8	
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	3,234	△122	△130	△70.77

差異が生じた理由

平成30年8月期累計期間の業績につきましては、新聞等発行事業の伸び悩みにより売上高は計画値を下回りました。また、上記の営業外費用（貸倒引当金繰入額及び関係会社事業損失引当金繰入額）の計上により、経常利益・当期純利益が当初の予測値を下回る結果となりました。

4. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成29年10月10日公表)	(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)
基準日	平成30年8月31日	平成30年8月31日	平成29年8月31日
1株当たり配当金	2円00銭	2円00銭	2円00銭
配当金総額	3百万円	—	3百万円
効力発生日	平成30年11月14日	—	平成29年11月13日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

決定理由

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要事項として認識し、財務状況及び業績等を総合的に勘案し、将来の事業展開に備えて財務体質強化のため必要な内部留保とバランスの取れた還元を実施していく方針であり、個別ベースで配当性向は30%程度を基準としております。

平成30年8月期の期末の1株当たり配当金につきましては、当期業績ならびに今後の事業環境等を総合的に判断しました結果、平成29年10月10日に公表した通り1株当たり2円とさせていただきます。なお、今後におきましても、内部留保の充実を図りながら株主への利益還元を検討していく方針であります。

以上